

福島第一原子力発電所 海側遮水壁閉合作業完了について

- 海側遮水壁については、鋼管矢板の打設・継手止水作業を行ってきましたが、本日、継手状況の確認をし、一連の閉合作業が終了しました。今後は、海側遮水壁内側の埋め立て作業等を実施していきます。

< 作業概要 >

- 閉合作業開始日； 2012年 4月25日
- 閉合作業終了日； 2015年10月26日(閉合作業終了)
- 鋼管矢板本数； 594本
- 延長； 約780m
- 協力企業； 鹿島建設・前田建設工業 等

1～4号機側の敷地から港湾内に流れている地下水をせき止めることができ、海洋汚染をより一層防止できると考えています。また、万一、汚染水漏れ等があっても、海洋に流出するリスクが大幅に低減できると考えています。

海側遮水壁閉合作業完了にともない、汚染水対策の3つの基本方針である「汚染水を漏らさない」対策が進み、「汚染源を取り除く」「汚染源に水を近づけない」対策も合わせ汚染水対策が大きく前進しました。

- 止水効果については、海側遮水壁の陸側の地下水位上昇が表れはじめています。今後も港湾内をしっかりと監視していきます。
- サブドレンの運用についても、設備の管理をしっかり行い、運用目標等を厳守していきます。

福島第一原子力発電所 海側遮水壁閉合作業完了について

< 打設作業 >



撮影日：2015年9月10日

< 閉合作業完了 >



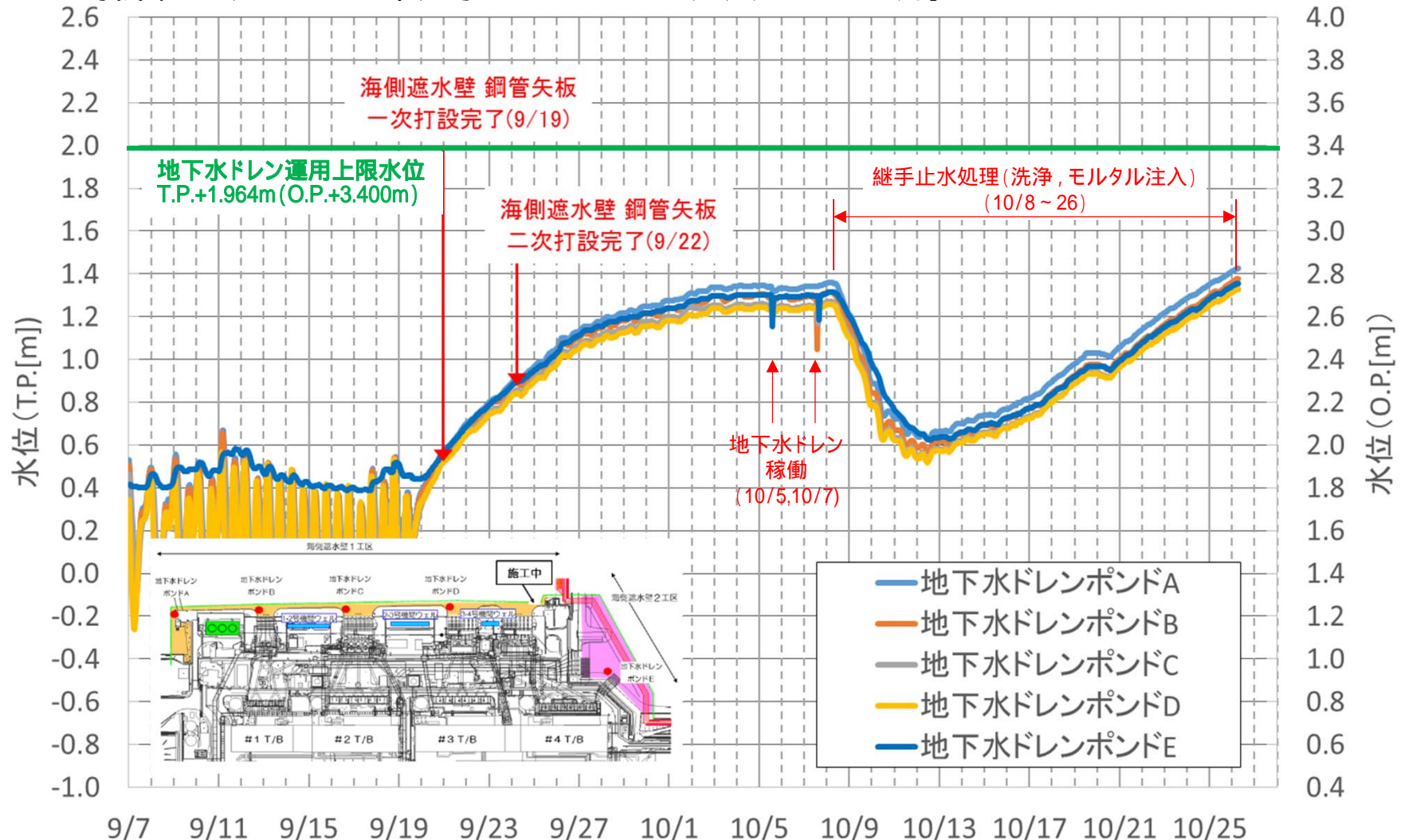
継手の状況



撮影日：2015年10月26日

< 参考 > 海側遮水壁閉合作業と地下水ドレン水位の変動

- 地下水ドレンpond水位は、鋼管矢板打設完了後上昇し、継手洗浄（10/8～9,19）後に一時低下がみられたが、継手へのモルタル注入により上昇。



9/7 9/11 9/15 9/19 9/23 9/27 10/1 10/5 10/9 10/13 10/17 10/21 10/25

水位(O.P.)は、震災前標高と比較しやすいよう、目安として記載しているもの。水位(T.P.)を水位(O.P.)に換算する場合は、1436mmを加算する